

2025年3月25日

各位

本店所在地	東京都港区赤坂九丁目7番2号
会社名	ネクセラファーマ株式会社 (コード番号 4565 東証プライム)
代表者	代表執行役社長 CEO クリストファー・カーギル
問い合わせ先	IR & コーポレートストラテジー一部 西下進一郎
電話番号	03-5962-5718 (代表)

当社提携先の Tempero Bio 社がアルコール依存症を 対象とした TMP-301 のフェーズ 2 試験を開始

ネクセラファーマ株式会社（以下「当社」）は、提携先の Tempero Bio Inc.（以下「Tempero Bio 社」）がアルコール依存症を対象とした TMP-301 のフェーズ 2 試験を開始しましたので、お知らせいたします。TMP-301 は、強力かつ経口投与可能な選択的 mGluR5 ネガティブ・アロステリック・モジュレーター（NAM）です。（試験 ID : [NCT06648655](#)）Tempero Bio 社からの発表全文は[こちら](#)からご覧いただけます（英文のみ）。

本フェーズ 2 試験では、アルコール依存症患者を対象に、TMP-301 の安全性、忍容性およびアルコール使用への効果を、プラセボと比較して評価します。

当社執行役副社長兼 Nxera Pharma UK 社長で英国研究開発ヘッドのマット・バーンズは次のように述べています。「当社の提携先である Tempero Bio 社がアルコール依存症を対象とした TMP-301 のフェーズ 2 試験を開始することで、当社の「NxWave™」創薬プラットフォームから生み出されたプログラムが、また一つ次の臨床開発段階に進んだことを喜ばしく思います。この進捗は、フェーズ 2 以降へ進むに値する革新的な候補物質を継続的に提供することができるという、当社の「NxWave™」プラットフォームの強みを示す新たな事例となります。今年、複数の臨床試験の主要データの発表に加え、複数の新たな臨床試験の開始が予定されており、提携および自社開発パイプラインの両方において、重要な一年になると期待しています。」

Tempero Bio 社は、物質使用障害を標的とした治療薬開発を目的として、当社が創出した TMP-301 を含む強力かつ経口投与可能な代謝性グルタミン酸受容体 5 (mGluR5) NAM ポートフォリオの臨床開発を進めるため、2020年にベンチャーキャピタルである Aditum Bio 社が当社と共同で設立した会社です。

2020年に締結した契約に基づき、Tempero Bio 社は、当社グループが保有していた mGluR5 NAM のポートフォリオに関するグローバルでの独占的権利を取得しました。その対価として、当社グループは戦略的株式持分として Tempero Bio 社の株式を受領するとともに、成果に応じた開発および商業化マイルストーン、製品販売からの段階的なロイヤルティを受領する権利を有しています。

本フェーズ 2 試験の開始による Tempero Bio 社から当社へのマイルストンの支払いは発生しません。今後、Tempero Bio 社から重要な支払いを受領するような重要な進展があった際には、改めてお知らせいたします。

以上

ネクセラファーマについて

ネクセラファーマ株式会社は、テクノロジーに立脚したバイオ医薬品企業であり、日本および世界中のアンメットニーズにお応えし、患者さまの生活の質を向上させる新しいスペシャリティ医薬品をお届けすることを目指しています。

日本で販売されている複数の製品に加え、探索から後期臨床段階にある 30 品目を超えるプログラムからなる幅広いパイプラインの開発を、自社で、あるいは大手製薬企業やバイオ医薬品企業との提携により推進しています。このパイプラインは、神経疾患、消化器疾患、免疫疾患、代謝性疾患、希少疾患などの大きく成長する治療分野における主要なアンメットニーズにお応えすることに重点を置いており、業界をリードする独自の GPCR 構造ベース創薬「NxWave™」プラットフォームを活用して、ベストインクラスまたはファーストインクラスの候補化合物を持続的に創出しています。

当社は、東京、大阪、ロンドン、ケンブリッジ、バーゼル、ソウルに主要拠点を展開しており、350 名を超えるグローバル従業員が活躍しています。

詳しくは、ホームページ www.nxera.life/jp をご覧ください。

LinkedIn: [@NxeraPharma](#) | X: [@NxeraPharma](#) | YouTube: [@NxeraPharma](#)